

請負業者各位

豊田市 上下水道局 下水道施設課

下水道台帳基図等引継調書の提出について（依頼）

貴社の請け負われた下水道工事の完了後、下水道台帳基図を下記の通り提出して下さい。

これは下水道台帳を作成するため、構造物の数量・高さ等を正確に把握するものですので、**出来形数値**を記入して下さい。

提出された台帳基図データはそのまま下水道台帳のデータとなりますので、正確なデータ記入をお願いします。

記

1 提出図書

- (1) 下水道台帳基図等引継調書 別紙様式
- (2) 位置図 (工事施工範囲が分かるもの)
- (3) 下水道台帳基図 (豊田市基本図を使用すること。
必要に応じて、監督員からデータを受けとってください。)
- (4) 出来形図 (平面図・縦断図)
- (5) 特殊マンホール構造図 (伏せ越しマンホール等、特殊マンホールがある場合)

2 提出方法（「台帳業者提出用」及び「窓口対応用」 各1部提出）

＜台帳管理業者提出用＞

データでの提出の場合

- ・上記(1)～(5)を DVD にて提出してください。(ラベルの書き方は別紙参照)
- ・下水道台帳基図等のデータ形式は、dwg もしくは dxf、その他は PDF もしくは DW としてください。

紙での提出の場合

- ・上記(3)は 1/500、A0 で印刷し、折らずに筒状にまとめてください。
- ・(3)以外の A3 より大きい図面は、A4 サイズに折り込み、封筒などの中に入れて下さい。
- ・施工規模の小さい工事など、手書きで対応する場合は工区に応じた下水道台帳出力図を渡しますので監督員に依頼してください。

＜窓口対応用＞

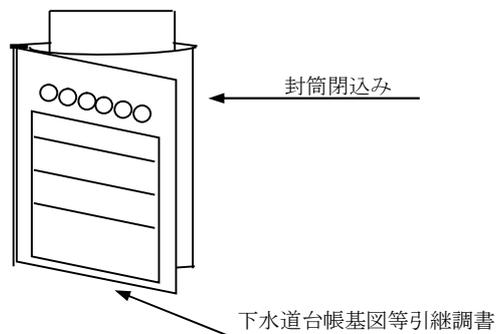
- ・上記(1)～(3)を紙にて提出してください。
- ・(3) については、A3 サイズで印刷してください。
※出来形数値等が、認識できるようにすること。
- ・A4 紙ファイルに、まとめてください。

3 下水道台帳基図記載方法

下水道台帳基図記載要領 を別紙参照。(別添)

4 提出期限 **発注課監督員に確認**

5 問い合わせ 下水道施設課 管路担当 Tel : 0 5 6 5 - 3 4 - 6 9 6 4



下水道台帳基図等 引継調書（承認工事）

施工年度	令和 年度	種別 ○で囲む	枝線・幹線
工事名			
工事場所	豊田市	地内	
施工業者			
市担当者	課		

提出書類

- ① 下水道台帳基図調書 ※この書類を表紙として使用
- ② 位置図
- ③ 下水道台帳基図 _____ 枚
- ④ 出来形図 平面図 _____ 枚 縦断図 _____ 枚
- ⑤ 特殊マンホール図等（伏せ越しマンホール、マンホールポンプ等） _____ 枚

工事概要（管種・管径別延長、人孔種類別数量、取付管数、マンホールポンプ名称等記入）

※設計値ではなく、**出来形値**で記入してください。

<新設>

管路 PRP φ150 L=〇〇.〇m
 人孔 0号 〇基 1号 〇基 小型C号 〇基
 取付管 〇か所

<撤去>

管路 PRP φ150 L=〇〇.〇m
 人孔 0号 〇基 1号 〇基 小型C号 〇基
 取付管 〇か所

<残置>

管路 PRP φ150 L=〇〇.〇m
 人孔 0号 〇基 1号 〇基 小型C号 〇基
 取付管 〇か所

※ 枝線・幹線ともにある場合は、それぞれの延長を記入。
 点在工事は地区毎に記入。
 管路の延長は、管の種類・管径の種類毎に集計して下さい。

下水道台帳基図等 引継調書 (承認工事)

記入例

施工年度	令和〇年度	種別 ○で囲む	枝線・幹線
工事名	○○○○○○○工事		
工事場所	豊田市	○○○町ほか	地内
施工業者	株式会社 ○○○○		
市担当者	○○○○課	○○	

提出書類

- ① 下水道台帳基図調書 ※この書類を表紙として使用
- ② 位置図
- ③ 下水道台帳基図 ___ ○ ___ 枚
- ④ 出来形図 平面図 ___ ○ ___ 枚 縦断図 ___ ○ ___ 枚
- ⑤ 特殊マンホール図等 (伏せ越しマンホール、マンホールポンプ等) ___ 枚

工事概要 (管種・管径別延長、人孔種類別数量、取付管数、マンホールポンプ名称等記入)

※設計値ではなく、**出来形値**で記入してください。

<新設>

管路 PRP φ150 L=○○.○m
 人孔 0号 ○基 1号 ○基 小型C号 ○基
 取付管 ○か所

<撤去>

管路 PRP φ150 L=○○.○m
 人孔 0号 ○基 1号 ○基 小型C号 ○基
 取付管 ○か所

<残置>

管路 PRP φ150 L=○○.○m
 人孔 0号 ○基 1号 ○基 小型C号 ○基
 取付管 ○か所

※ 枝線・幹線ともにある場合は、それぞれの延長を記入。
 点在工事は地区毎に記入。
 管路の延長は、管の種類・管径の種類毎に集計して下さい。

提出方法（記入例）

<台帳管理業者提出用 DVD ケースラベル記入例>

令和〇年度
工事名:〇〇〇〇〇
工事場所:豊田市〇〇町ほか地内
施工業者:株式会社〇〇〇〇
「添付データ」
① 下水道台帳基図調書
② 位置図
③ 下水道台帳基図 〇 枚
④ 出来形図 平面図 〇 枚 縦断図 〇 枚
⑤ 特殊マンホール図等(伏せ越しマンホール等) 〇 枚

下水道台帳基図作成時の注意点

1	台帳基図引継調書と、台帳基図の延長等が不一致場合があります。 台帳基図引継調書は、出来形数値（実測）を記入すること。
2	曲点を使用している場合、区間を分けて管理するため、曲点で分けて管路情報を入力してください。
3	既設管路へ割込人孔を使用した際は、既設管の上下流についても管路情報を更新するため記入して下さい。（既設管の上下流の管路延長・管底高さ・割込人孔の地盤高さ等）
4	区画整理等の多事業の進捗により、地盤高さが不明確な場合は計画地盤高さを記入して下さい。
5	内副管の明示漏れがないか、確認して提出して下さい。
6	マンホールの種類が、凡例と一致していない、未記入場合があります。 （特に、小型C号マンホールはレジン・ハイブリット等間違えないように記入してください。）
7	マンホール等のオフセットについて、基本図と現地の地形等が一致していない場合、なるべく一致している場所から測るようにして下さい。
8	オフセットが、遠い場所から計測していると差異が生じる為、基本的に近くの隅切り等から計測してください。
9	マンホール等のオフセットが、1点や未記入場合があります。 万が一、オフセットが記入できない場合は、記入できない理由を残してください。
10	取付管の管路情報が、漏れている場合があります。 地権者の自己負担分等においても、記入すること。
11	取付管において、本管取付部までの水平延長は曲点がある場合は、曲点から計測すること。

下水道台帳基図記載要領

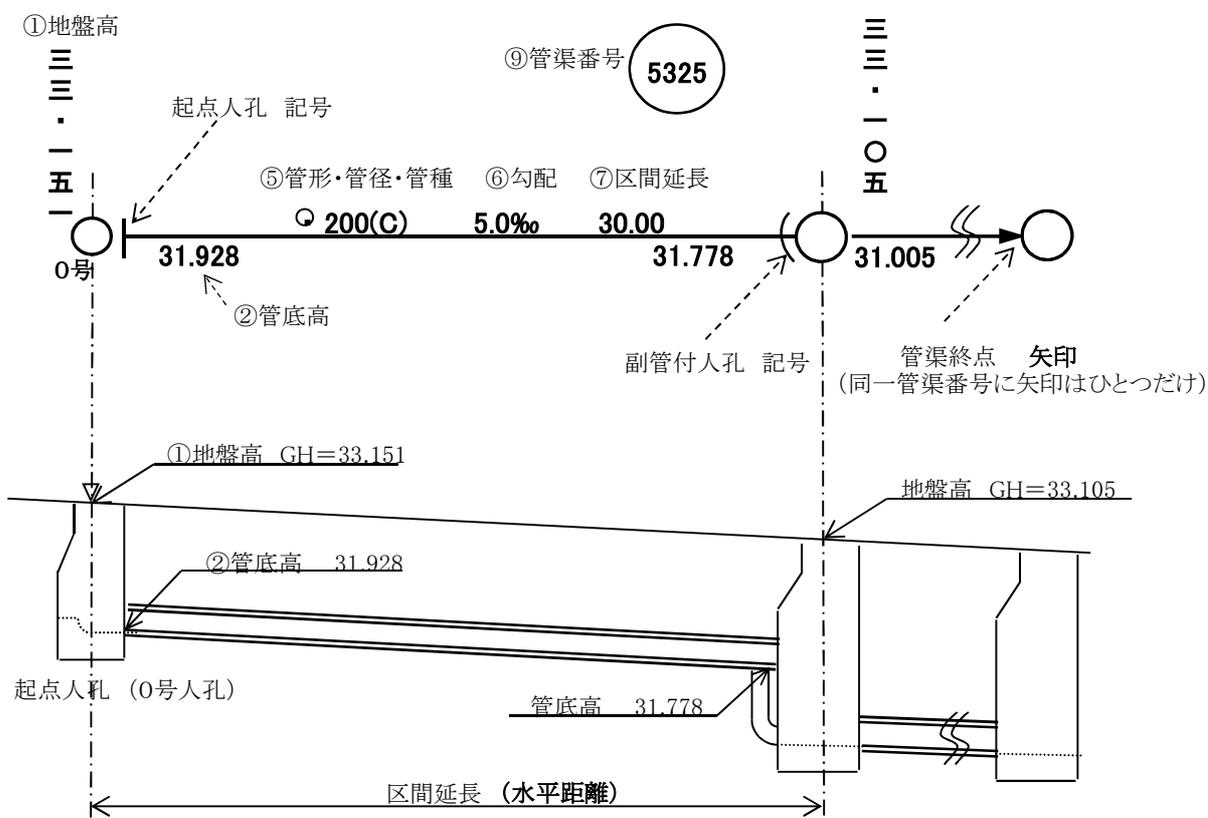
(1) 平面図は下水道施設課が支給する「下水道台帳システム出力図」を使用し別紙の凡例に従って**赤色**で記入すること。

※CADによる図面出力も可能。

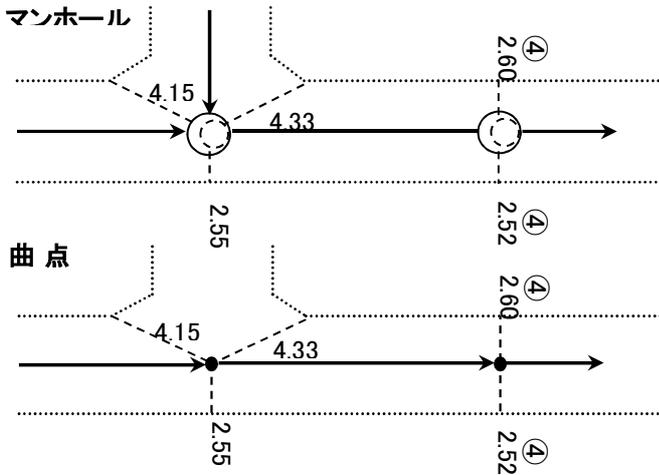
(2) 下水道台帳図には、以下のものが表示されている。

- ① マンホール（または曲点）の地盤高（漢数字で記載）
- ② マンホール（または曲点）の管底高
- ③ マンホール（または曲点）の位置（蓋の中心ではなく構造センターで測定）
- ④ マンホール（または曲点）位置のオフセット
- ⑤ 管渠の形状・管径及び材質
- ⑥ 管渠の勾配
- ⑦ 管渠の区間延長（水平距離を記入、計算可）
- ⑧ 管の起点・終点＝矢印の根本・先端を明示
- ⑨ 管渠番号

<本管部 記入例>



<④ マンホール・曲点 位置オフセット 記入例>

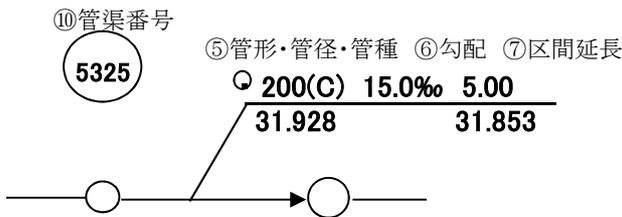


平面図上に表現されている地形(道路境界等)から人孔・曲点中心までの距離を記入する。(単位：m)

※ 注意事項

電柱、側溝の道路側、その他平面図上にない地物からはオフセットをとらないこと。

<記入例のような記載スペースが無い場合>



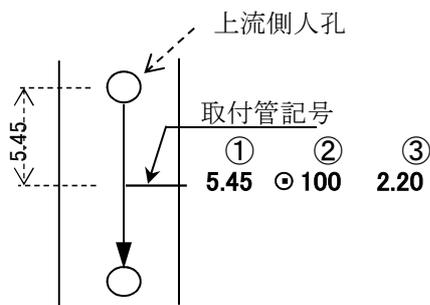
※区間長が短い場合など、上記の方法で記入できない時は、引き出し線により記入する。

見やすくなるように、記入して下さい。

(3) 取付管には、左から下記の順で表示されている。

- ① 上流側人孔(または曲点)からの距離(取付管本管取付部までの水平距離)
- ② 取付管の内径
- ③ 本管中心から官民境界までの距離(水平距離)
- ④ 家屋所有者または家屋のない場合は土地所有者の名前
- ⑤ 官民境界での土被り

<取付管 記入例 >



① 上流人孔から取付管本管取付部までの水平距離 (単位：m)

② 取付管渠の管形及び内径 (単位：mm)

③ 本管中心から官民境界までの距離 (単位：m)

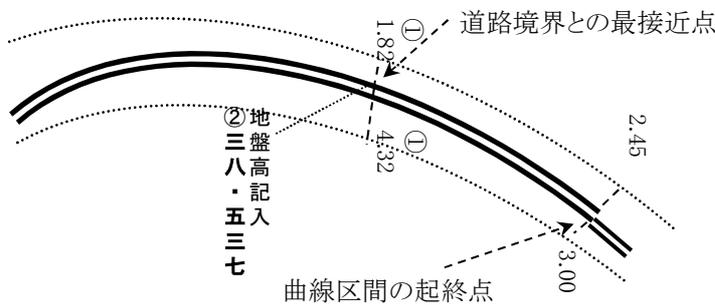
(4) 幹線管渠には、下記の事項を追加して記入すること。

- ① 曲線が入っている場合は、管渠曲線の起点、終点位置、道路境界との最接近点等のオフセット数値。
- ② おおむね100mに1箇所程度のオフセット数値及びその地点の地盤高を記入。

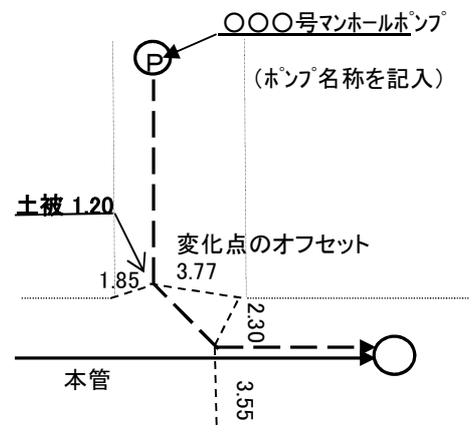
(5) 圧送管には、下記の事項を追加して記入すること。ただし勾配は記入不要。

- ① 圧送管の線形の変化点等におけるオフセット数値。
- ② 圧送管の線形の変化点、道路境界との最接近点等における土被り。

< 幹線管渠 オフセット記入例 >



< 圧送管 オフセット等記入例 >



(6) 数量の単位及び位取り は下記の通りとする。

項目	単位	位取り	項目	単位	位取り
人孔地盤高	m	小数第3位	人孔オフセット	m	少数第2位
本管管底高	m	小数第3位	管径	mm	整数
勾配	‰	小数第1位	区間延長	m	小数第2位
取付管の土被り	m	小数第2位	取付管取付部の距離	m	小数第2位
取付管の口径	mm	整数	官民境界までの距離	m	小数第2位

(7) 平面図の右下に見出しラベルを貼り付けること。

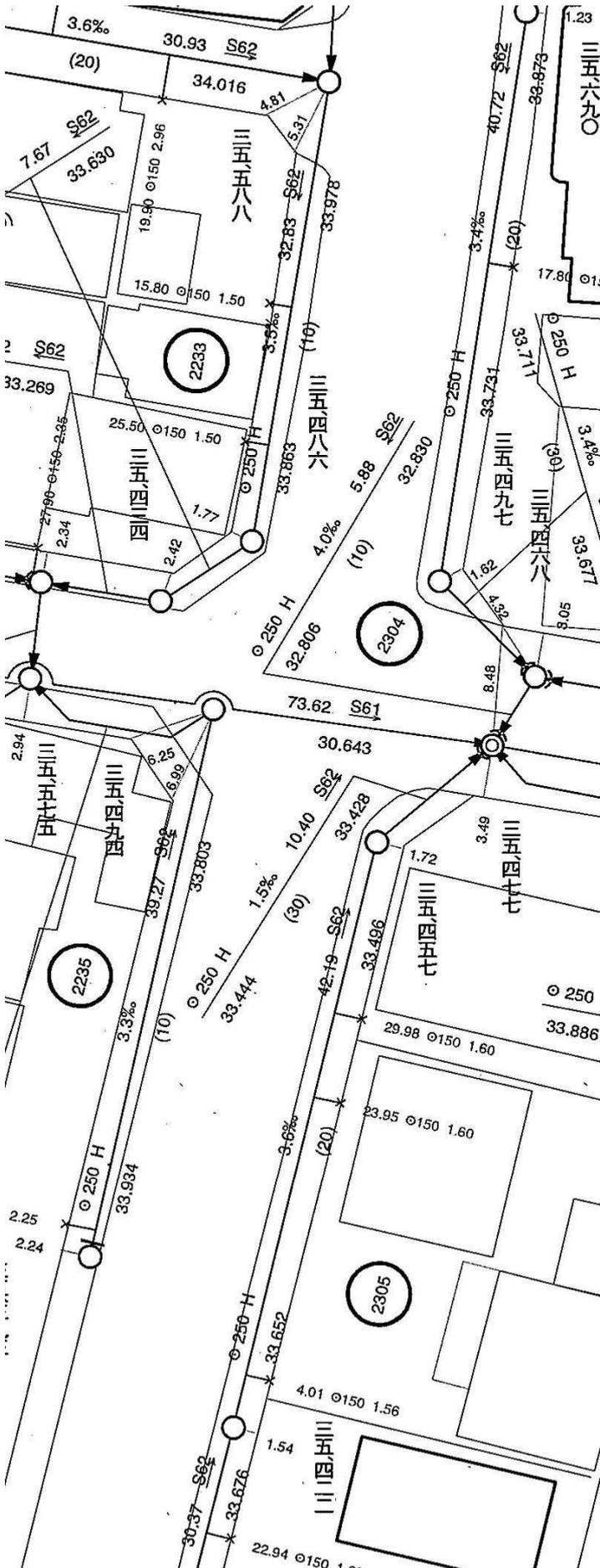
H 23 年度	幹線・枝線
工事名	公共下水道事業管渠築造工事 (第〇工区)
施工業者	〇〇・〇〇 建設共同企業体
市担当者	〇〇 〇〇
メッシュ番号	〇〇-〇〇
図面番号	全 〇 枚の内 〇

← 該当するものに ○ をつける。
(両方ある場合は、両方に ○)

← 平面図のメッシュ番号

← 平面図のみの枚数(位置図、工区割平面図等は含まない)

<下水道台帳図と凡例>



記号	種別
	汚水管渠
	汚水幹線管渠
	圧送管
	形状・管径(管種) 勾配 延長 管底高
	管渠番号
	地盤高
管種 (H)	ヒューム管
(HF)	推進用ヒューム管
(V)	硬質塩化ビニル管
(C)	陶管
(PRP)	リブ付硬質塩ビ管
(D)	ダクタイル鋳鉄管
(HC)	ハイセラミック管
(PCP)	更生管(ポリエチレン・コンパクトパイフ、PFL工法)
(VOP)	更生管(EX、オカライナー工法)
(GFP)	更生管(ハルテムSZ工法)
	1号人孔(内径 90cm)
	2号人孔(内径120cm)
	3号人孔(内径150cm)
	4号人孔(内径180cm)
	5号人孔(内径220cm)
	A1号人孔(60×90cm)楕円
	0号人孔(内径 75cm)1号より小さい円
	小型0号人孔(内径 60cm)
	小型V1号人孔(内径 30cm)
	小型V2号(内径 20cm)
	小型R3号(内径 30cm)
	小型コンクリート(内径30cm)※コンクリート製
	小型コンクリート(内径30cm)※レジンコンクリート製
	小型コンクリート(内径30cm)※ハイブリッド製
	曲管の折れ点(曲点)
	角形組立式人孔(小)
	角形組立式人孔(大)
	特殊人孔
	伏越人孔
	副管付人孔
	起点人孔
	マンホールポンプ